

音 楽 3 年

教科の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
-------	--

評価規準

評 価 の 観 点	評 価 規 準	方 法
知識及び技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	☐ 学習時の観察 ☐ 実技発表 ☐ 発表・プリント等の提出物 ☐ 期末テスト
思考力、判断力、表現力等	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	☐ 学習時の観察 ☐ 実技発表 ☐ 発表・プリント等の提出物 ☐ 期末テスト
学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	☐ 学習時の観察 ☐ 発言・プリント等の提出物

使用教科書・使用教材

☐ 教芸 中学生の音楽 2—3 上・下 ☐ 教芸 中学生の器楽	☐ 箏、和太鼓、リコーダー、鑑賞資料、鑑賞用 CD、DVD、BD、合唱パート別 CD
--	---

「教育に関する 3 つの達成目標」との関連

規律ある態度で授業を受け、音楽に関する表現や発表、鑑賞する態度をしっかりとさえる。「みんなができる、みんなのできる」の実感を持たせる。

【第3学年】標準授業時数 35時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト【評価方法】
一 学 期	○歌唱「花」 ○歌唱「帰れソレントへ」 ○鑑賞「ブルタバ（モルダウ）」 ○合唱コンクール曲	・歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する。 【活動観察、演奏聴取】 ・調や速度の変化を生かした表現を工夫する。 【活動観察、演奏聴取】 ・オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取る。 【活動観察、発言内容、プリント】
二 学 期	○器楽 リコーダー ○器楽 ギター ○鑑賞 「ボレロ」	・曲想を感じ取り、曲想にふさわしい音色やフレーズの表現を目指して表現を工夫する。 【活動観察、演奏聴取】 ・リコーダーの運指、タンギングや息の使い方の技能を身につける ・ストローク奏法や基本の奏法を身に付ける。 ・基本のコードを覚え演奏する。 【活動観察、演奏聴取】 ・楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わう 【活動観察、発言内容、プリント】
三 学 期	○卒業式曲	・表現豊かに、響きのある歌声で歌う。 ・自らの門出を祝い、友と歌う最後の合唱に思いを込め、高らかに歌い上げる。 【活動観察、演奏聴取】